

様式第 1 (第 15 条関係)

会 議 録

会議の名称	第2回和泉市都市計画マスタープラン策定委員会
開催日時	平成 26 年 3 月 28 日 (金) 13 時 00 分から 17 時 30 分
開催場所	和泉市役所3号館3階 市議会委員会室
出席者	和泉市都市計画マスタープラン策定委員会委員 15名 (4名欠席) 都市デザイン部都市政策監 都市デザイン部次長 (都市政策担当)、その他事務局 6名
会議の議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地視察会 ・ 和泉市のまちの現状について (視察会を終えて) ・ アンケート調査結果の速報について
会議の要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地視察会 ・ 和泉市のまちの現状について (視察会を終えて) ・ アンケート調査結果の速報について ・ その他 ・ 閉会
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 ()
その他の必要事項 (会議の公開・非公開、傍聴人数等)	会議公開 傍聴人 1名

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

午後1時から午後4時30分まで

■ 現地視察会(市内)

午後4時30分開会(市議会委員会室)

■ 開会

【司会】

ただ今から第2回和泉市都市計画マスタープラン策定委員会を始めます。

まず、はじめに、本委員会は公開とし、傍聴を認めております。また、会議録作成のため、議事をICレコーダーにて録音しておりますが、記録の作成後は消去いたします。会議録は事務局で作成後、委員長に内容を確認いただいた後、公開いたしますので、ご了解をお願いいたします。

本日は、資料を1部ご用意しております。お手元に資料はありますか。資料の名称は「和泉市都市計画マスタープランアンケート調査結果の速報について」となっております。

それでは、次第に沿って進めて参りたいと思います。

これからの進行は下村委員長にお任せいたしますので、よろしく願いいたします。

■ 和泉市のまちの現状について(視察会を終えて)

【下村委員長】

皆様、お疲れ様でした。それでは、第2回和泉市都市計画マスタープラン策定委員会を始めたいと思います。

次第に沿って進めますが、次第を拝見しますと「1. 現地視察会」「2. 和泉市のまちの現状について(視察会を終えて)」となっており、次第2 から進めていくこととなります。

まず今回ですが、計画を作っていくにあたり、委員の皆様には和泉市のまちの現状を見ていただくことが必要と思い、市内の視察会を実施いたしましたが、いかがだったでしょうか。

委員の中には、実際にお住まいされている方が多いので、よくご存知の方、ご存知の場所もたくさんあったかと思いますが、本市は海側から山手まで広い市ですので、地元以外で案外とご存知ではないところもあろうかと思い、市の現状を実際に見ていただく機会を作っていた次第です。

本日の視察を終えて、気付かれたところや、また、初めて知った内容もあろうかと思いますが、皆様から感想やご意見をいただければと思います。都市計画に関することには限りませんので、一言ずつお話しいただければと思います。

本日は午後からの開催で既に夕刻となっておりますので、お一人1、2分程度でお話しいただ

ければ、30分ほどで全員のご意見を伺えるのではないかと思います。それでは、また、この場から参画いただいた方もおられますが、A委員から順に、視察会にご出席いただけなかった方も想いなどをお話しいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

【A委員】

私は、トリヴェール和泉の開発部分と市役所周辺については知っていましたが、鶴山台付近や南部の保育園等は知らなかったもので、勉強になりました。

本日の視察ルートでの印象は、和泉市が住宅街を主として構成されているまちであることがわかりました。これは他の市も同じかもしれませんが、元々和泉市はみかん畑や繊維工場が多く見られる産業構造だったと思います。それが現在、住宅主体になってきたわけです。

ニュータウンの人口が増えているので、一旦は税収も上がるが見えていますが、今後、高齢化社会に突入して千里・泉北ニュータウンと同じようになることが考えられます。それを補完する意味でも、テクノステージやあゆみ野周辺のような工場やショッピングセンターがあるわけです。

今回は、都市計画マスタープランを作っていくにあたり、将来を見据えた産業構造の変化を予測しながら、土地利用を適正に誘導していくことも踏まえて、上手く議論できればと感じています。

【B委員】

北部のまちなみと南部の山並みを見て、自然の良さを感じる部分がありましたので、南部の自然を上手く活かして開発されると良いと思います。

一方で、外環状線の沿道の土地利用は景観が壊されていると感じましたので、その点はもう少しきれいになれば良いと思います。

【C委員】

今まで知らなかった北部リージョンセンターの場所が分かりました。

また、黒鳥山公園は以前も行ったことがありますが、田圃の間を通ったので、消防署の方があれほど綺麗に整備されているとは思いませんでした。

それから、南の方は道路がたくさん整備されていて驚きました。以上が感想です。

【C委員】

私は横山地区に住んでいますが、本日は横山の南部リージョンセンターと外環状線の沿道しか見られませんでした。横山地区は外環状線からさらに南側に広がっており、本日は槇尾山や父鬼の方もあります。また、横山高校の跡地にグラウンドができるということですが、それも含め南部地域を広く見ていただきたかったと思います。

【D委員】

私も和泉市に生まれ住んで60年以上になりますが、和泉のことが分かっていなかったと思

ました。北部リージョンセンターができることは聞いていましたが、私もどこにできるかが理解できていなかったのので、本日は参加させていただいて良かったと思います。

ただ、北部地域も開発されて、北信太駅周辺は、鶴山台ができた段階で乗降客が増えていますが、信太山駅周辺は、自衛隊があつて開発ができていないので一駅だけ遅れているように感じました。

また、和泉中央線などの新しくできた道路は、4車線の立派な道路ですが、昔からの道路は狭く、拡幅も難しくて大変です。鉄道網が泉北高速鉄道とJR阪和線だけなので、和泉市を縦に走る道路があれば良いと思いますし、交通網の整備も充実できると良いという印象を持ちました。

【E委員】

和泉市に住んで20数年になりますが、和泉市のことをあまり知らなかったというのが正直な思いです。黒鳥山公園のことは知っていましたが、あそこまで綺麗に整備されていることを知らなかったのので、公園の利用促進も必要だと思いました。

また、テクノステージは、道路に面して緑地帯があり、外観を見た印象は綺麗でした。鶴山台のミニストリートと呼ばれるところもそうです。しかし、綺麗に整備されているところは良いのですが、昔からある国道480号に沿った地域は住宅街と工業地域が混在していて、景観があまり良くないという印象でした。

普段から思っていることは、和泉中央駅とJR和泉府中駅などの駅と駅をつなぐ動線でかなり混雑が見られるということです。朝夕のラッシュ時は、時間が読めず、車で移動するのに苦労します。

【F委員】

私も昔から和泉市に住んでいますが、今回は「このようなところにこういうものがあつたのか」と発見することが多々ありました。

今後の計画については、公共施設やそれに附随するいろいろな施設について考えていくことになると思いますが、将来30年先を見越して考えていきたいと思っています。特に、道路については最初からきちんと決めなければ、途中で途切れたり、変更したり、時間ばかりかかって仕方がないと思います。

【G委員】

私も生まれてからずっと和泉市に住んでいますが、本日、改めて市内を見学して、まちの大変な変わりように驚きました。昔あつたはずのものがどこにあるのか分からなくなっています。

全体的には、開発していく上で、まちなみが統一されていないように感じます。もう少し整然としたまちづくりができないものかという印象を受けました。

また、皆さんも言われたように、道路は道幅が狭いので、これからテクノステージ辺りが開発されて車が多くなるにも関わらず、交通対策をどのように対応するのか心配しています。高速道路に乗るのに岸和田和泉ICまでどのくらい時間がかかるのか、今から心配されるのでそういう

部分も含め考えていきたいと思います。

【H委員】

私も和泉市に住んでいますが、今、和泉中央周辺の開発が急ピッチで進んでいます。その中で、和泉中央線が新しくできましたが、和泉市の端から端まで通る道としては他に泉大津粉河線と光明池春木線があります。しかし、それらの道路はこれだけ開発が進んで人口が増えていく中であっては、あまりにも狭過ぎると思われれます。

したがって、道路の拡張が急務ではないかと感じました。できるだけ早く、この3本の道路を大きな道路にすることが必要だと思います。

【I委員】

本日は、視察には参加していませんが、私は鶴山台南校区に住んでいまして、北部地域の視察では北部リージョンセンターの開発の様子や鶴山台の方を見ていただいたようです。鶴山台は昔、URにより開発されて今に至っています。鶴山台にある志保池公園は、黒鳥山公園や惣ヶ池公園とならんで桜がきれいなところですよ。

町会で、南部の道の駅にも行きましたが、和泉中央駅の方も開発が進んできており、素晴らしい和泉市になっていくと思います。そのような感想を持っています。

【J委員】

私も初めて市内をあちこち見て回ることになりましたので、大変勉強になりました。印象的なところも幾つかありますが、最初にA委員が言われたように住宅の印象が深く、広い土地を持った住宅が整備され、なおかつそれを住民自らが守ろうとする姿勢も感じました。

都市計画マスタープランを作るうえで考えていく点では、いろいろな要素があると思いますが、今後を考えますと、地域の価値をいかに守っていくのかということ、価値を守るということは住民が満足度を高めることであり、あるいは満足度を求めて人が戻ってくる、あるいは流入してくるということを考えると、そのような地域の価値を高めていくことは大事だと思いました。

そういう中で、今後、地域が持つ価値を維持していくのは大変ではないかと感じています。高齢化が進むと手入れが難しくなりますので、開発を進めていく一方で、価値を守るための方法を都市計画の中にどう落とし込むかということの難しさを感じました。

【下村委員長】

ありがとうございます。私も部分的には何ヶ所か訪れたところがありますが、このように連れて行っていただいたのは初めてでした。

皆さんのお話を伺って、まず道路網の整備についてのご意見が多かったかと思います。国道や府道、市道、私道などある中で、市がどのように決められるかということも、これから意見を整理していく必要があると思います。府の方も都市計画道路の見直しをしているところであり、昨年頃から廃止される都市計画道路も多いので、その辺りの状況も踏まえながら、計画にどう書き込んでいくかということを考える必要があります。

また、トリヴェール和泉をはじめとする新しい住宅、まちづくりも進んでいます。自然発生的につくり上げられてきた既成の市街地と、計画的に造られたトリヴェール和泉などのまちとは、まちが造られる過程が違いますので、まちなみも当然違ってきます。その辺りのゾーンをしっかりと捉えて将来の目標像なども作っていく必要があるかと思えます。

沿道景観の話も出されましたが、和泉市はまだ景観条例が無いようなので、現在は大阪府の景観計画に基づいて、沿道景観を含めて第二阪和国道や大阪外環状線を整備しています。市として、まちなみ整備をどう書き込んでいけるかということも皆様のお話のとおりだと思います。

本日は時間の関係で山手の方を見られませんでした。今後、進めていく中では、自然的環境の中でも市街化調整区域や国定公園にかかっているところもありますので、都市計画マスタープランではしっかりと書き込むようなことになろうかと思えます。

和泉市は、海から平地、丘陵地、山手と言うように地形によって都市構造が決まっているという印象であり、特に黒鳥山公園は尾根筋の端に位置するところを上手く公園指定されて、見晴らしの良い公園づくりをされている等、その場所に合ったまちづくりを進められているように感じました。

ご指摘があったように、沿道に色々な業種が出ているところもあり、そういうところは法制度で規制し難いところがありますが、その点も現状を認識しながら、この都市計画マスタープランの中で書き込めるところは書き込みたいと思っています。

あとは進め方として、都市計画マスタープランの最終章に「どのようにまちづくりを進めていくか」という推進方策を書き込む必要があるかと思えます。それについては、J委員から地域の価値を高めるといった話があったように「地域をどのように評価していくか」「その価値を誰が主体となって作っていくか」ということが求められますので、何章になるかは分かりませんが、「今後について」のところしっかりと書き込めるような形で、皆様からご意見を頂戴できればと思っています。

まとめに代えて、私の感想も含めてお話しさせていただきました。ありがとうございました。

■ アンケート調査結果の速報について

【下村委員長】

それでは次に、アンケート調査結果の速報について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは「和泉市都市計画マスタープラン アンケート調査結果の速報」について説明させていただきます。お手元の資料をご覧ください。

アンケート調査の概要ですが、調査は平成25年12月1日時点で、市にお住まいの18歳以上の男女3,000人を対象とし、今年1月30日～2月28日の間に実施しました。

主な設問項目としては、和泉市のまちづくりに対する実感度、今後の居住意向、目指すべきまちの将来像、分野別のまちづくりの方向性、土地利用の望ましいあり方、和泉市の守るべき地域資源等です。実際に調査に使用したアンケートを添付しておりますので、ご参照ください。

調査結果の概要ですが、配布数3,000通に対して回収数が869通、そのうち期間外に到着した3通を除く866通について集計しました。回収率は29.0%です。

回答者の内訳ですが、男女別の内訳は男性が約4割、女性が約6割でした。年齢別では60代が22.3%で最も多く、次いで40代が18.8%、50代が16.1%、70代が15.5%、30代が14.8%となっています。

本日は速報版として、和泉市のまちづくりに対する実感度と将来像に関する設問の集計結果について、ご説明いたします。

設問1は、各分野におけるまちづくりの実感の度合いと、その中で重要なものをお訊きするものです。1～19までの市全体のまちづくりに関する項目に対して「そう思う」から「思わない」までの4段階と「分からない」の計5項目の選択肢から答えを選んでいただくとともに、この19項目から特に重要だと思う5項目を選んでいただきました。

その結果が右側のグラフです。このグラフの見方は、右に行くほど「そう思う」という、まちづくりに対する市民の満足の度合いが強く、上の項目ほど重要度が高いと感じていることを表しています。赤い丸がかかっている10番「地震や台風等の災害に対する備えができている」、9番「高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っている」、13番「安全に利用できる道路や交通手段が整備されている」については、多くの市民の方が重要と考えている項目であり、なおかつあまり実感できていないことを示しています。

また、青い丸がかかっている16番「下水道や浄化槽の整備により、衛生的で快適な暮らしを営むことができている」、12番「公園等の緑に接する環境が整っている」、15番「ごみのリサイクルが進み、衛生的なまちづくりが行われている」については、ある程度実感できていて、関心を持つ人が少ないことを示しています。

次に、設問4はまちの将来像についてお訊きするものです。和泉市全体の将来像として、どのようなまちを目指すべきかについては、12の選択肢から三つ選んでいただきました。最も多くの方に支持されたのは、2番「買い物など日常生活が便利なまち」でしたが、その他にも8番「高齢者や障がいを持つ方に優しいまちづくり」や「自然環境」「防災」「子育て」「交通の利便性」等が多くの方が求める将来像のキーワードとして挙げられています。

こちらの結果につきまして、第3回以降の委員会の中で、どのような形で組み立てていくかを整理していただきたいと思っています。

アンケート結果の速報については以上です。

【下村委員長】

今の説明に対して、ご質問等はございませんか。

【J委員】

今回は重要度が順位だけなので、本来であればこれもポイント化するともう少し詳しく分かると思いますが、そういうことは予定されているのでしょうか。

【事務局】

今回は速報という形でお示ししていますので、次回の策定委員会に詳細な結果、J委員がご指摘された数値等についても報告させていただきたいと考えています。

【下村委員長】

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【H委員】

回収率29%は低過ぎるのではないかと思います。その理由は何でしょうか。

【事務局】

今回、和泉市民に対して無作為で3,000通を送らせていただき、期間も約3週間と期限を切って調査を実施したところ、現状の結果となりました。周知方法は市ホームページ、広報などで告知を行いました。

【H委員】

郵送した相手にお問い合わせはしなかったのでしょうか。

【事務局】

今回は、無作為抽出で郵送先を決めており、回答を催促するといった手段は採っておりません。

【H委員】

せめて半分くらいは回収されてもよいのではと思っていたのですが、数字だけ見ると市民の皆さんはあまり興味がないように感じます。

【下村委員長】

ありがとうございます。大学でアンケート調査を行うとこれよりも悪い回収率になりますが、役所から来た郵便物に対しては、もう少し回収率が高くなるのではないかとというのはご指摘のとおりかもしれません。30%弱というのは少し低いと思います。

サンプル数が心配ですが、地域別の集計等は可能でしょうか。

【事務局】

集計等に影響がないように、整理を行っております。

【下村委員長】

他はよろしいでしょうか。これは速報ですので、もう少し目的に応じた解析をしていただけるかと思っています。もう少し詳しく、計画に結び付けられるような年齢層等、クロス集計的な部分も、な

ゼロクロス集計するかというところを考えていただいた上で解析していただければ有難いと思えます。よろしくお願いいたします。

■ その他

【下村委員長】

それでは、その他として、事務局から報告をお願いいたします。

【事務局】

その他としまして、事務局から今後の動きと次回開催の時期についてご報告します。

まず、これからの進め方ですが、先ほど速報としてお示したアンケート調査の結果について、本日のご指摘を踏まえて整理、分析を行います。また、現在、市の状況に関する基礎調査と同時に、市の関係課等で組織する庁内検討会で計画に反映すべき市の課題を整理しているところですので、次回、第3回策定委員会でアンケート調査結果と合わせて報告できればと考えております。

次回の開催時期については、本年5月末頃を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

【下村委員長】

ありがとうございます。皆様の方からご意見等はいかがでしょう。

【委員】

意見なし

■ 閉会

【下村委員長】

特に、ご意見等もないようですので、これで第2回の和泉市都市計画マスタープラン策定委員会を閉会いたします。

本日はお昼から今までの長時間にわたり、お疲れ様でした。

ありがとうございました。

以上

会議のてん末を記載し、その相違のないことを証するため、ここに署名する。

和泉市都市計画マスタープラン策定委員会委員長

下村泰彦